

第16回「新・木造の家」設計コンペ

募集要項

1. テーマ

『SAGAの家』

木造に関心を持ち、その基盤となる森林や林業、木材について理解をした設計士を育成するために、「新・木造の家」設計コンペ(以下「本コンペ」とする)は、九州・佐賀の地でスタートしました。

日本には、地域ごとの気候風土に応じ、特色ある職人技術と材料を用いた、木造の建物が存在します。今回のコンペの舞台となる「佐賀」にもそのような木造が、古くから建てられてきました。

とはいえ、このコンペは、昔ながらの技術や住宅のあり方を、そのまま後世に継承するものではありません。伝統技術の良さを理解し、木材の特性や地域の気候風土を加味しながら、現代の最新の技術等を取り入れた、新しい「木造住宅」の提案を期待しています。

「佐嘉」から「佐賀」へ、そしてこれからの「SAGA」という時代へつながる、ユーモア溢れる「SAGAの家」をテーマに作品を募集します。

2. 本事業の主催・後援

主催：特定非営利活動法人 森林（もり）をつくろう

後援：林野庁・佐賀県

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター

一般社団法人全日本瓦工業事業連盟・全国陶器瓦工業組合連合会

西九州トステム株式会社（LIXIL グループ）

3. スケジュール

参加の登録期間 2020年6月1日(月)～2020年10月18日(日)

作品の提出期間 2020年7月1日(水)～2020年10月18日(日)(当日消印有効)

一次審査結果通知 2020年10月下旬～11月上旬

二次審査および表彰 2020年12月12日(土) 佐賀県で開催

※新型コロナウイルス感染状況による対応を(13)に記載

4. 課題と応募要領

(1)募集の概要

本コンペは、木造住宅、特に「伝統構法」の木造をイメージした住宅設計を課題とします。

本コンペでは、個人またはグループ単位で応募いただいた作品の中から、プレゼンテーションを経て、優秀賞(最優秀賞1点、優秀賞2点)、特別賞(林野庁長官賞1点、佐賀県知事賞1点)と、後援団体賞(瓦屋根優秀賞1点、トステム賞1点)を決定していきます。

さらに実際に建築を希望する施主募集の結果によっては、上記入賞作品の中から、施主が希望する作品1点を、専門家の協力のもと、様々な条件による修正を加えながら建築する可能性があります。

【施主募集による建築については、(11)優秀作品に選ばれた後の手続きを参照】

なお、応募は個人若しくは1グループにつき1点のみとします。(個人で応募する者が、他のグループに参加応募することは不可)

(2)設計課題

① 人が憩い集う場所である住宅本来の機能を中心に、防犯性、耐火・耐震性等が確保され、現代のライフスタイルや家族の在り方、さらには家族構成の変化にも柔軟に対応できる間取を取り入れた斬新なアイデアの木造住宅を提案すること。

② 伝統構法を用いた住宅。

伝統構法とは、日本に古くから伝わる、木造の建築構法です。この構法は、大陸より日本に伝わり、日本の気候風土や、人々の生活スタイルに合わせて変化を遂げてきました。近年、日本では、大規模な地震やゲリラ豪雨、予想を超える積雪など、想像もしない災害がいたるところで発生しています。そのような環境も考慮しながら、伝統構法の良さを取り入れつつ、将来の日本で「伝統構法」と呼ばれるような構法を活かし、これまでに見たことのないような新しい住宅の提案を期待します。

(3)設計条件

① 敷地面積は 300 m²以内（集合住宅の場合は 500 m²以内）とし、敷地条件、住宅の延べ床面積は適宜想定すること

② 新築に限らない。＜改修等のアイデア作品の提出も可能＞

③ 階数の制限は設けない。

④ 住人や建物の利用方法の設定は自由 ＜賃貸借・使用貸借等利用に関する法律の考慮は不要＞

⑤ 伝統的構法を用いた木造住宅

⑥ 戸建住宅や集合住宅の別は問わない。（但し①、②の条件を満たしていること）

⑦ 斬新な木構造の提案

木造の技術は、古く大陸から伝わり、先人の職人が高温多雨である日本の気候風土に適した形にアレンジしてきました。これから将来に向け、突発的に起こりうる稀な自然災害への備えが求められるでしょう。そこで、先人の築いた技術に提案者らしいアレンジを加えた「新・木造」の構造提案を行ってください（構造計算などの分析等は不要）。

(4)応募資格

応募資格は、以下の全てを満たすものとします。

① 大学、大学院または高等専門学校・専門学校（以下、大学等）で建築を学ぶ学生。

但し、30歳以下の学生を対象とする。（2020年4月1日現在で30歳であれば可）

② 国籍は問わない。但し、二次審査（プレゼンテーション）やその際の質疑応答に対応できる程度の日本語力を有すること

③ 個人またはグループでの応募とし、グループの場合は1グループの人数を最大4人までとする。

④ グループで応募する場合、自らが大学等で専攻する分野を建築の中に反映させたいと考える他学部の学生の参加も可。但し、大学等で建築を学ぶ学生を少なくとも1名含むこと。

⑤ その他、以下の要件をすべて満たすものであること。

ア、独自のアイデアに基づき自身の力量で資料等を作成すること

* 専門機関や団体に作品制作を委託しないこと。

* 作品コンセプトやPRポイントのほか、設計趣旨など、独自のアイデアが求められる作品の重要な部分において、明らかに過去の提出作品との類似性が認められる場合は、審査の対象にならない場合があることを念頭に置き、作品制作に取り組むこと。

イ、二次審査（プレゼンテーション）および表彰式に確実に参加できること。

ウ、施主募集の対象となるコンペであることを理解し、真剣に制作に取り組む作品であること

⑥ 各応募者とも作成段階で第三者のアドバイスや資料の提供を受けることを妨げないが、学生独

自の作品提案を原則とする。

※新型コロナウイルス感染状況による対応を（13）に記載

(5)応募に必要な手続き

- ① 特定非営利活動法人森林をつくろうホームページ(<http://www.mori-tukurou.com>)より登録を行って下さい。
- ② 登録受付期間は、2020年6月1日(月)～2020年10月18日(日)まで
- ③ 作品を提出できるのは、あらかじめこの登録手続きを済ませた学生に限ります。
- ④ 登録を受け付け次第、事務局より登録番号を通知します。登録を行って1週間が経過しても登録番号の通知がない場合は、事務局までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染状況による対応を（13）に記載

(6)作品の応募の方法及び期間

- ① 主催者事務局への郵送等(宅配便も含む)により受け付けます。
- ② 作品の受付期間は、2020年7月1日(水)～2020年10月18日(日)(当日消印有効)
- ③ 作品提出後、応募内容に変更のあった場合は、速やかに主催者までご連絡下さい。但し、やむを得ない場合を除き、応募に必要な書類内容の変更や作品の差し替えは一切認められません。

※新型コロナウイルス感染状況による対応を（13）に記載

(7)応募作品

- ① 応募に必要な提出物は以下の通りです。

- a. 応募用紙（応募申請書①）

参加者（代表者を含む）全ての氏名・所属大学（大学院）・学部（専攻）を記入して下さい。住所は代表者のみで構いません。ただし、申請書等書類に不備がある場合は、事務局よりご連絡させていただくことがあります。必ず連絡の取れる方を代表とし、代表者の連絡先に記入して下さい。

- b. 応募用紙（応募申請書②）

下記の内容をそれぞれ申請書に記載して下さい。記載形式（文章のみ、もしくはイラスト等を用いる）は自由ですが、最大でA4用紙2枚までとします。

- ・設計した住宅のコンセプトとPRポイント（構法の提案内容も含む）
- ・住宅全体の総額と使用木材の総額
- ・提案する住宅の施工により日本の森林整備にどのような効果をもたらすか

- c. 設計図（A1用紙1枚、パネル化しないこと）

提出する設計図では以下の点に留意して作成して下さい。

- ・配置図、平面図、パースは最低限記載すること
- ・提案する木造住宅のイメージが分かりやすく表現されていること
- ・住人や利用方法等の記載
- ・提案する住宅のダイアグラムの記載

- d. 設計図のデータ（設計図＜A1用紙＞として提出する作品のデータ）

- ・ファイルはjpeg形式あるいはPDFファイルで提出して下さい
 - ・データはメールで送付すること（メールは問い合わせ先に記載しているアドレス宛送付）
- *大容量データを送付できるメール機能の利用をお願いします。

- ② 応募作品（申請書②も含む）には、署名および大学等名の記入をしないこと

- ③ 二次審査の際に必要なと思われる模型や上記に掲げる以外の、資料提出の必要はありませんが、プレゼンテーションの際は、各自判断の上当日持参下さい。
- ④ 特定非営利活動法人「森林(もり)をつくろう」の理事長は、審査に際し必要と認める場合は、応募者等に対して提出資料の訂正もしくは追加を要請することがあります。
- ⑤ 審査において、明らかに過去の提案作品の模倣あるいは類似性が認められる場合は、審査の対象外になる場合があります。

(8)諸経費について

コンペ応募に要する諸費用及び参加作品の制作費や送付料は、全て参加学生の自己負担とします。但し、主催者は二次審査（プレゼンテーション）に参加する学生に対して、必要な費用の一部を以下の通り負担します。

① 経費の負担

- ・ 法人の負担に該当するもの
二次審査開催地までの交通費・宿泊費。但し、最大2名までとします。
- ・ 法人の負担に該当しないもの
プレゼンテーションに必要な書類等の作成費、食事代等

- ② 交通費については、二次審査参加の学生等に所属する大学等の地域に応じて当法人が決めた必要経費を支給します。詳細は、「交通費に関する募集要項」をご確認ください。

(9)コンペの方法及び入賞作品の決定

<一次審査>

- ・ このコンペは、書類選考による1次審査とプレゼンテーションによる審査の2段階で実施します。但し、提出物の内容によっては、審査の対象外とする場合があります。
- ・ 応募者等が多数の場合は、当法人に設立した第三者で構成する「審査委員会」において1次審査を実施後、二次審査（プレゼンテーション）に参加する作品制作者を選定し、応募者等（グループで参加の場合は代表者）に結果をメール及び郵送で通知します。一次審査を通過する作品は5点程度を予定しておりますが、審査委員会の審査によっては前後することがあります。
- ・ 一次審査を通過作品は入選作品とします。ただし、いかなる理由においても二次審査となるプレゼンテーションに参加できない場合には二次審査の対象とならないため、入選扱いとはなりませんのでご了承下さい。

<二次審査>

- ・ 一次審査で選定された作品の中から、応募者が一次審査で提出した設計図に加えて、パワーポイントや模型などを用いたプレゼンテーションを行い、審査委員による質疑や議論を通して、提案された作品の完成度や総合性を基準に優秀作品を決定します。

- ④ 賞の内容は以下の通りとします。

【優秀賞】

最優秀賞	(1点)	賞金 30万円
優秀賞	(2点)	賞金各 5万円

【特別賞】

林野庁長官賞	(1点)
佐賀県知事賞	(1点)

【後援団体賞】

瓦屋根優秀賞	(1点)	賞金 5万円
--------	------	--------

トステム賞（1点） 賞品

- ⑤ 林野庁長官賞（予定）は特別賞と位置づけ、本コンペ開催の最大の目的である山側（木材生産者）と施主（ユーザー）を繋ぐことで日本の森林の再生、国産木材の利用促進に最も寄与すると評価された作品に対して授与します。
 - ⑥ 佐賀県知事賞（予定）は特別賞と位置づけ、今回のプレゼンテーションの舞台である佐賀の未来に相応しい夢のある家づくりの提案に対して授与します。
 - ⑦ 瓦屋根優秀賞は、瓦生産や施工の技術継承と需要拡大に繋がることを目指して、瓦屋根が良く合った作品やこれまでにない斬新な瓦の使用方法を提案する作品に対し授与します。
 - ⑧ 後援企業による賞（トステム賞）は、住宅用設備（サッシ、水まわりなど）を生産、提供するLIXILが考える住宅づくりに最も適した作品に対し授与します。
 - ⑨ 二次審査でプレゼンテーションを行った作品は、「入選」扱いとします。
 - ⑩ 最優秀賞（1点）および優秀賞（2点）は、本コンペの趣旨に沿った優れた作品に対し授与します。
- ・ 優秀作品を含めた入選作品については、当法人ホームページにおいて公開します。また、審査の内容や選考結果については一切お答えできませんのでご了承下さい。

(10)作品の取り扱い

- ① 応募作品は、原則として返却しません。
- ② 他のコンペ等に入選した作品や他の団体等に権利のある作品の応募は認められません。
- ③ このコンペに入賞した作品の著作権は応募者に帰属しますが、入選作品の発表に関する権利は主催者に帰属します。作品の提出をもって、出版物などに適宜掲載することを応募者に許諾いただいたものとみなします。
- ④ 応募する作品に関するデザイン・意匠等は応募者の責任において知的財産法等の各種法律をクリアしているものとします。

(11)優秀作品に選ばれた後の手続き

- ① 当法人のコンペ開催趣旨等にご理解を頂ける施主1組を公募により決定します。
- ② 公募により決定した施主が、優秀作品5点の中から、実際に建築してみたいコンセプト等を持った作品1点を選ぶものとします。
- ③ 施主により選ばれた作品の制作者は、施主・専門家が同席して行われる三者協議に参加することができます。
- ④ 各種法律の規定により、確認申請、実施設計、監理などにおいてはアドバイスをを行う専門家の権限により実施することとする他、以下の通りとします。
 - ・ 施主により選ばれた作品の制作者は、基本設計に参画し自身が提案したアイデアを実現させる権利を得るものとする
 - ・ 基本設計では、施主の敷地条件や家族構成などを考慮しながら、自身の提案したアイデアを実現するべく、専門家と協議しアドバイスを受けながら施主に提案していくものとする
 - ・ 実施設計においては、アイデアを提案する作品制作者との協議や、三者協議における決定事項を順守して進めるものとする
- ⑤ 施主公募の実施スケジュール(予定)
 - ・ 2020年6月より施主の公募を開始（新型コロナウイルス感染状況による対応欄(13)に詳細を記載）
 - ・ 施主が希望する優秀作品の決定後、速やかに協議開催に向け調整

- ⑥ 施主を公募し建築することを前提としていますが、公募における施主との調整が不可能の場合は、施工期間の延期あるいは、施主を伴わない形式での建設に変更になる場合がありますので、ご解下さい。

(12) 審査委員 (敬称略)

委員長	鈴木 祥之	(立命館大学衣笠総合研究機構教授)
委員	五十嵐 勉	(佐賀大学全学教育機構教授)
	井出 光俊	(元林野庁職員)
	伊東 龍一	(熊本大学大学院先端科学研究部教授)
	小山田 順二	(佐賀県農林水産部林業課課長)
	竹迫 継美	(西九州トステム株式会社代表取締役)
	前川 康	(NPO 法人伝統構法の会会長 株式会社前川建築研究室代表取締役)
	野口 安廣	(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
	三島 伸雄	(佐賀大学教育研究院自然科学域理工学系教授)
	山田 浩史	(北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科講師)

(13) 新型コロナウイルス感染状況への対応について

上記募集要項に記載する内容で開催予定としておりますが、新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、下記のような対応を行い、開催あるいは中止とする場合があります。あらかじめご了承ください。

- ①12月に開催を予定するプレゼンテーション(二次審査)は、感染状況に応じて下記の内容で開催あるいは中止とする

- ・感染が終息に近く、イベント等の開催が認められる場合・・・・・・・・・・通常開催
- ・通常開催が可能な場合以外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・開催中止

なお、開催可否の判断は、9月中旬を目処に当法人 HP 上でお知らせします。

<事業を中止した場合の作品の取扱い>

- a) 作品提出に先立ち実施する参加登録手続きを期間内(登録受付開始後から開催中止公表までの期間)に行った学生は、制作者が応募条件を満たさない場合(学生限定とするコンペの条件や年齢制限の条項を満たさない場合)であっても、次年度開催の、第17回「新・木造の家」設計コンペへの参加資格を有する
- b) 開催中止の判断前に事務局宛作品を送付した場合は、制作者が応募条件を満たさない場合(aと同様の場合)であっても、次年度開催の、第17回「新・木造の家」設計コンペ一次審査対象作品とする

- ②6月より募集開始予定の施主公募は、打ち合わせ等でのソーシャルディスタンス確保が難しいため、当面の間休止し、学生の皆様の作品が実際に建築できる機会を可能な限り検討したいと考えております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

5. 書類送付、問合せ先

〒842-0202 佐賀県神埼市脊振町鹿路585番地1

特定非営利活動法人 森林をつくろう (担当: 佐藤和歌子)

TEL 0952-65-4176

MAIL info@mori-tukurou.com (*部分を@に変更してください)

URL <http://www.mori-tukurou.com>